

Be Happy ! その 62

南楠祭 ～お帰り青春 さよならマスク～ その1 開会あいさつ

6月16日(金)、南楠祭が開催されました。Be Happy の投稿は1週間後の金曜日。1週間経っても、南楠祭での思い出は鮮明に残っています。

学校行事の開催は、すべて企画・立案・運営のステップは必須です。特に南楠祭は、With コロナとして感染対策を適切に講じて、生徒会が「おかえり青春～マスクとさよなら～」テーマに掲げ、新しい企画に挑戦してくれました。生徒会役員、南楠祭実行委員、各クラスの生徒の皆さん、頑張る皆さんに寄り添い、多くの生徒の喜ぶ姿を支える先生方は勿論ですが、今回は地域の皆様(地域包括連携しているチェントクオーレ・ハリマの友情参加)そして宮城県立石巻北高校(東日本大震災の復興ボランティアで交流をした学校)の友情協力(学校製造の物産販売)を含め、多くの方のご尽力のお陰です。全ての方々に心より感謝申し上げます。合い言葉～ ワクワク・ドキドキ 思いっきり Enjoy life of 加古南～(令和5年度の加古南での学校生活の合い言葉)のように、開催できました喜びと感謝、心に刻まれて思い出の数々で心が躍っています。4月の全校集会で、「学校は楽しくなくては、ならないと思います。」を何回も皆さんに語りました。そして21期生の修学旅行先で、偶然聞いた曲「たのしみなさい。NOBU」の歌詞が凄く素敵で、私の日頃思っていることをメロディーに乗せてメッセージを心に響かせてくれる曲を紹介しました。南楠祭の開会の挨拶、もう一度

「学校は楽しくなくては、ならないと思います。」という台詞と、そして、ワクワク・ドキドキで「たのしみなさい。NOBU」を歌いました。マイクを持って話している時もドキドキは最高潮でした。「歌ってもいいですか?」と皆さんに聞きますと、一瞬の沈黙の間がありましたが、拍手をしてくれる生徒が予想以上に多く、前奏(My 携帯から舞台上で音楽を流す)には多くの手拍子をしてくれました。「♪♪ ひとの努力を知りなさい。ひとの痛みを知りなさい。困難を挫折をたのしみなさい。人生の全てをたのしみなさい。最後の最後に咲かせなさい。♪♪」のワンフレーズ。皆さんの温かい心で大きな拍手をいただきました。次からのフレーズも歌いたかったのですが、拍手の大きさや声援にビックリしたこと、皆さんの楽しい時間をこれ以上頂いてはダメと感じ、歌った後の台詞も用意していましたが、「皆さん、今日一日、たのしみましょう。」と会場の雰囲気のパークであいさつを終えました。(3分2秒) 何故、挨拶に歌を歌った理由は2つありました。



一つ目は、文化祭で思い出に残る挨拶をすべきと考えたからです。楽器が弾けたり、一芸があれば、それを披露することを考えました。勿論、歌うか否かは随分と迷いました。相談できる先生に歌ったらどうかな?と話し、その先生は、「歌ったら生徒は喜ぶますよ」と言ってくださいました。漸く心を決めました。そして南楠祭の前日に吹奏楽部の皆さんに「歌います。」と告知しましたので、当日舞台にたつて「やっぱり歌うのやめとこ」という結果にならないように有言実行を貫こうと既成事実を作っていました。

二つ目は、「たのしみなさい。NOBU」の歌の歌詞を、しっかりと皆さんに考えてもらい、生徒の皆さんが加古南を卒業して時が流れ、日常生活のなかで、TV やラジオなどで、この歌が流れた時に加古南の文化祭や加古南での青春のひと時を思い出してくれたら Be Happy と思ったからです。私の高校時代の文化祭の合唱コンクールで歌って優勝した歌は、「イチゴ白書をもう一度」と「心の旅」でした。この曲を聞くと高校時代の思い出がよみがえって、Be Happy になります。舞台上でマイクを持ち、全校生徒の前で、少し照れて頭をかきながらあいさつ、そして皆さんの大きな拍手、声援を一杯受けて、私にとっても生涯忘れることのない、かけがえのない思い出になり、最高に Be Happy でした。Be Happy !

Be Happy !